

# 福岡県米麦大豆生育情報

平成30年 1月19日  
福岡県  
福岡県米麦品質改善協会

## 麦の生育概況と対策

### 1. 本年の気象 [太宰府アメダス]

	11月20日～1月18日 (59日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	6.2	10.3	2.2	162	100
前年差(比)	-2.5	-3.0	-2.4	74%	51%
平年差(比)	-1.2	-1.6	-1.2	74%	83%

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

### 2. 麦の生育 [小麦:11月20日播種、大麦:11月24日播種]

11月20日～1月18日の平均気温は平年より1.2℃低く、降水量は17%少なく、低温少雨で経過した。

出芽は、小麦で平年より1～2日遅く、大麦で平年並～6日遅かった。1月19日現在の生育は、小麦では、草丈は平年並～28%低く、莖数は6～30%少ない。大麦では、草丈は平年並～24%低く、莖数は平年より24～46%少ない。主稈葉数は、小麦では0.4～0.9葉少なく、大麦では0.2～0.7葉少なく、生育は平年より遅れている。

### 3. 今後の対策

#### (1) 排水対策

ほ場の湿潤状態が続いており、排水対策が重要である。排水溝の溝さらえを行って排水口を整備し、地表水を排水する。ほ場が乾燥した時点で、土入れを兼ねて作溝する。

#### (2) 踏圧・土入れ

踏圧・土入れは倒伏防止や雑草防除、排水対策のため必ず実施する。踏圧は土壌水分が低いときに、節間伸長開始期までに2～3回程度、土入れは3月上旬までに2～3回実施する。

#### (3) 雑草防除

雑草の発生量はやや多い。雑草の草種や発生状況を観察し、茎葉処理除草剤を適期に処理する。除草剤は普通作雑草防除の手引きを参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

#### (4) 追肥

1回目の追肥(分けつ肥)は、小麦・食料用大麦・裸麦では、基準量を1月下旬に施用する。ビール大麦は基準量を1月下旬～2月中旬に施用する。追肥に緩効性肥料を用いる場合も1月下旬に施用するが、施肥後に土入れを実施して確実に覆土を行う。

小麦・食料用大麦・裸麦の2回目追肥(穂肥)は3月上旬に施用する。

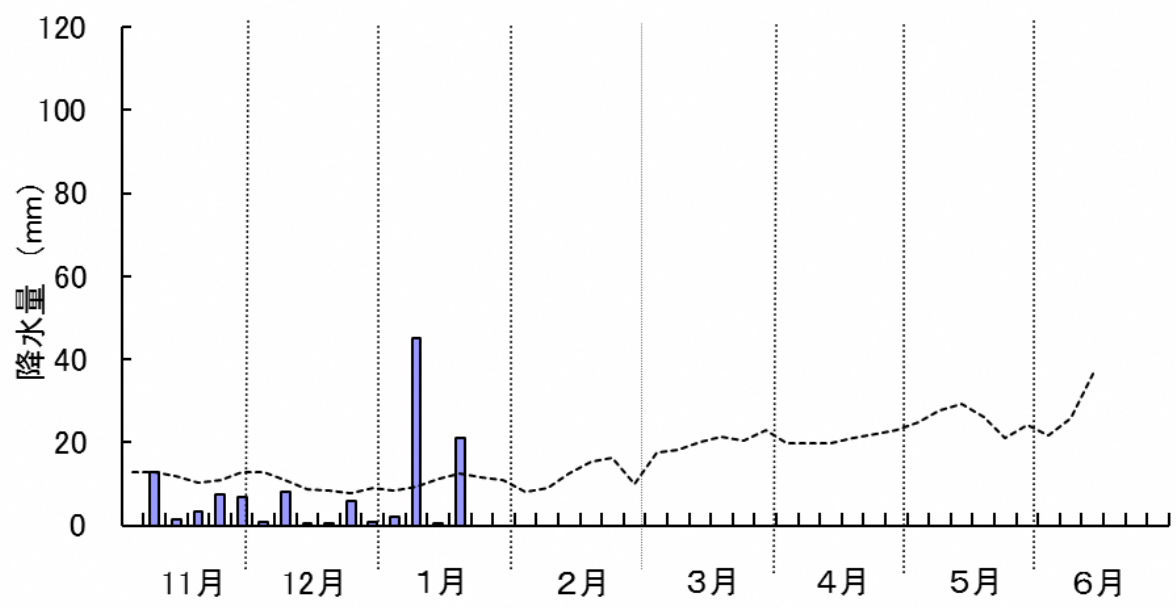
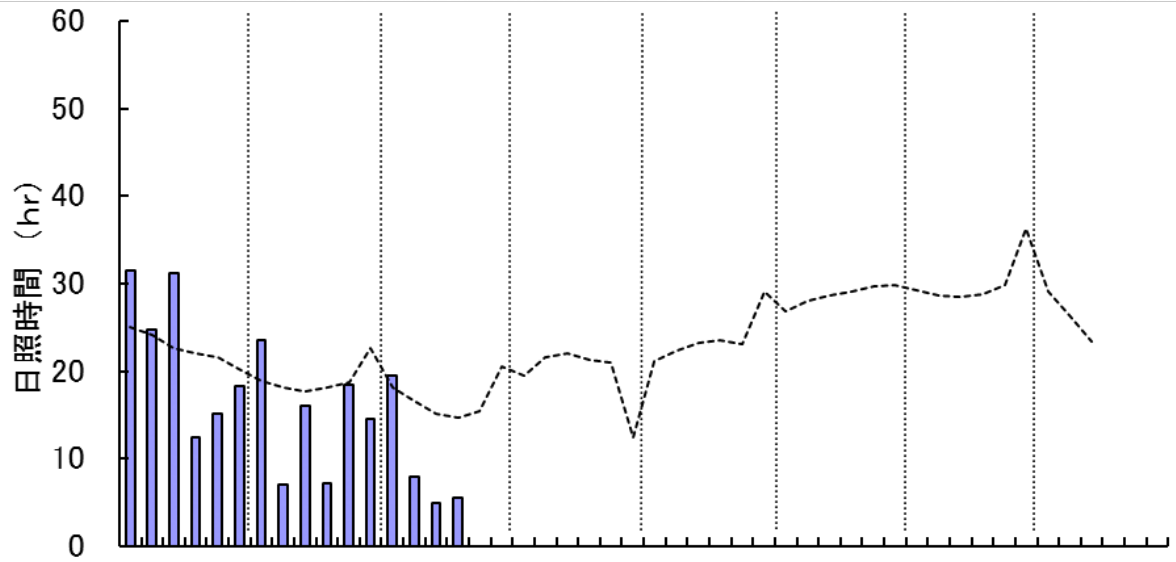
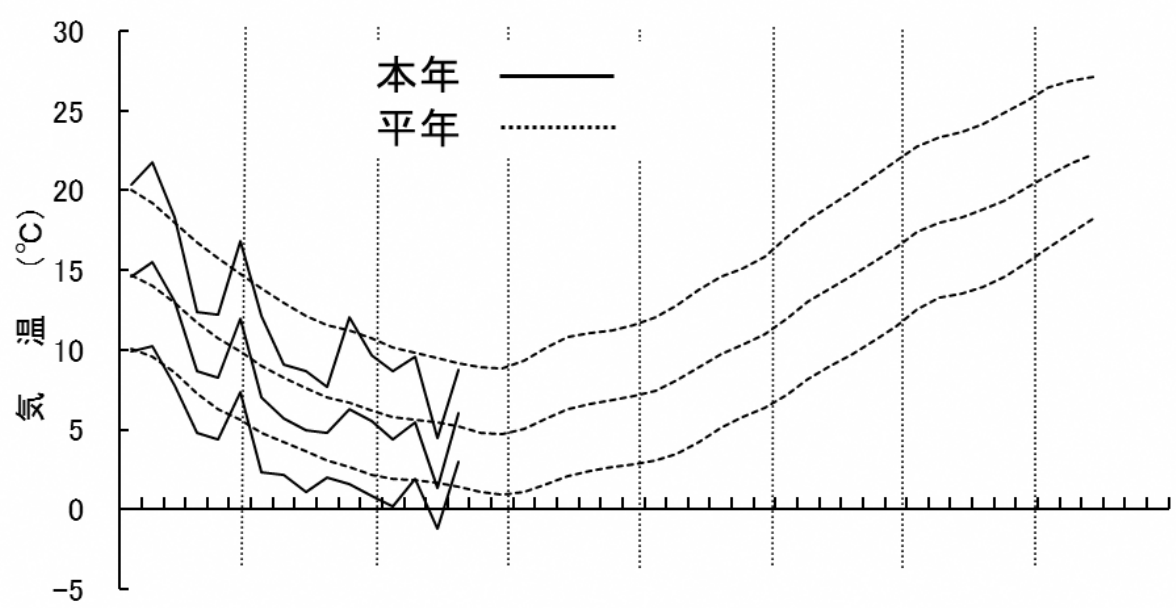
## 平成 29 年播 麦作況試験

(農林業総合試験場)

調査 場所	播種 期 月.日	品種名	年次	出芽期 月.日	1月19日		
					草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉数 L
農 産 部	11.20	チゴイヅミ	本年	12.2	11.7	312	3.2
			前年比(差)	+5	68	60	-2.0
			平年比(差)	+2	97	70	-0.9
	11.24	ほうしゅん	本年	12.6	8.3	313	3.0
			前年比(差)	+1	79	56	-1.7
			平年比(差)	±0	96	76	-0.7
筑 後 分 場	11.20	シロガネムギ	本年	12.3	9.7	435	3.9
			前年比(差)	+1	53	112	-0.5
			平年比(差)	+2	72	94	-0.4
	11.24	はるしずく	本年	12.14	8.4	218	3.5
			前年比(差)	+6	70	42	-1.1
			平年比(差)	+6	76	54	-0.2

注1) 平年値はH19~28年播の平均値。

2) この値は暫定値で、今後変更することがある。



冬作期間の気象 (太宰府アメダス：平成29年11月～平成30年6月)